

5

CREATIVE

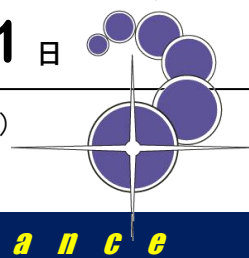
学 年 だ よ り

第11号 令和2年5月21日

県立村上中等教育学校 (15期生)

●学習も、普段の生活も step by step

Keep Distance



アドバイス1 教科書をもう一度じっくり読み返そう

単語の意味が分からない。記号は何を表すのか。計算の仕方が分からない。など、基本的なことが分からない生徒が多いように感じました。その時はもう一度、教科書をじっくり読み返しましょう。単語、記号、ルールなどすべて書いてあります。解き方を知ることが大事ですが、まずはその土台をきちんと理解することが大事です。 ω 、 i 、虚数など、最初のほうに説明したものが抜け落ちているようでした。

ω とは？

i とは？

虚数とは？

アドバイス2 問題文をよく読み理解しよう

問題の意味が分からない、なんで $AP=BP$ なのか？などの質問が多くありました。もう一度、問題文をよく読みましょう。「2点から等距離→点Aと点Bからの距離が同じ→2点間の距離の公式の利用」と読むこと。また、図に書いて表すことも大切です。頭の中で処理をするのではなく、具体的に書いてみる。目でみて分かる形にする。何度も問題文を読むことが大切です。意外と問われていることは当たり前ことが多いです。じっくり問題文を読みましょう。

アドバイス3 何かうまく使えないかをいつも考えよう。

数学の問題の多くは、(1)、(2)と続くとき、(2)は(1)を使うことが多いです。(1)を上手に使えないかを意識しながら問題に取り組んでみよう。答えの道筋が見えてきます。

(1)をうまく使えないか？

また、答えを導くための式をどのようにして作れるかを考える。チャートを見てみると色々な解法がみえてきます。それを理解するには、まず、土台がきちんとできていないと話になりませんよ。

分からないことがあれば、
すぐに質問に行きましょう。

テスト前にドカッと来られても、
こちら側が説明できても、
君たちが理解するには
時間が足りなすぎます。

分からないと思ったときが
理解するチャンスです！
特に今回の休校期間で
疑問点が多く出たはずですよ。
一つ一つ確実に
理解するようにして
行きましょう。(花沢)



分散
登校

質問カード
フィードバック

数学編

全135本の
質問を結集！



■ 漢文

アドバイス1 基本的な用字を確認しよう！

質問1 「也」の使われ方がよくわかりません。

回答 漢文によく出てくる重要語には複数の用法があります。動詞・名詞・助字・副詞など一つの漢字にいくつもの読みと意味があり、文脈によって判断しなければなりません。「也」の場合、文末にあれば、①断定の助動詞「なり」(～である)、②疑問・反語、詠嘆「か・や」(～か)となります。いずれも書き下し文ではひらがなです。また文中にあるときは、③主格の提示・強調「や」(～は)です。置き字として使われて読まないこともあります。『明説漢文』の基本重要語(p116～127)が便利です。

アドバイス2 反語の句形は要注意！

質問2 「独～乎」の訳には「ひとり」の意味は入らないのですか。

回答 「独」は反語の場合、「どうして～か、いや～ない」の訳で使われます。ここでは「一人きりで」の意味は含まれません。他に限定の意味で用いられるときもあります。その場合は「ただ～だけだ」の意味です。「一人きりで」の意味になるのは、「独(り)座(す)」のように副詞で用いられるときですね。反語の句形はたくさんありますから、一つ一つ丁寧に覚えましょう。現代語訳では問いかげ部分の訳で終わらないように、しっかり後半の結論まで訳しましょう。

■ 古文

アドバイス3 助動詞をマスターしよう！

質問3 助動詞「る」「らる」の意味の見分け方がわかりません

回答 ①まずは「受身」かどうかを判断します。「尊敬・可能・自発」は助動詞の意味を省いても文自体は成立しますが、「受身」の意味を省いてしまうと「する・される」が逆になっておかしい訳になってしまいます。だから省いて不自然な意味になるならば「受身」です。
②「可能」は直後に打消を伴って「不可能」を表すことが多いので、確認しましょう。
③「自発」は「自然にそうなる動作」のことです。直前に無意識の動作があれば「自発」です。「泣かる(思わず泣く)」などです。心情や知覚の語に注意しましょう。
④「尊敬」は主語を見て、「位の高い人」であれば、そのまま「尊敬」と判断できます。ただし、古文は主語が省略されることが多いので、文脈から判断しなければなりません。

アドバイス4 もっと辞書を引こう！

質問4 古文単語が覚えられません。

回答 単語帳だけを見ていてもなかなか定着しないと思います。今心がけるべきことは、①予習のときに分からない単語を辞書で調べることです。辞書(紙辞書)に印をつけていれば、同じ単語を次に引いたときも意識できます。そして、②教科書の文の中で「訳として覚える」ことです。それを繰り返して「自分で訳す」ために古文単語を使えるようになりましょう。単語帳⇄問題集でも同様です。近道はありません。継続しましょう。

■ 現代文

アドバイス5 筆者の主張や小説の主題は決まっている！

質問5 感想は人それぞれなのに、どうして出題者に合わせなければならないのですか。

回答 確かに文章を読んだときの感想は、人によって違いがあると思います。しかし、問われているのは皆さんの感想ではありません。評論であれば社会の常識とは異なる意見を持った筆者が読者に伝えたいメッセージがあるのです。小説であれば作家が虚構の世界に込めた普遍的テーマがあります。それらを正しく読み取れるかどうかを問われているのです。好きか嫌い、賛成か反対かは適切に読めた後に自分の意見としてまとめればよいでしょう。実際に入試でも「要旨+自分の意見」として皆さんの意見を求めているものもあります。趣味や娯楽で楽しんで文章を読むのではなく、これは入試で読解力を試されるための練習だと意識することが大切です。

アドバイス6 問題文にすべて答えがある！

質問6 小説で登場人物の心情が読み取れません。

回答 小説では人物の心情がいつもわかりやすく描かれているわけではありません。「うれしい」や「悲しい」と書いていなくても、その気持ちを読みとる必要があります。小説は「場面」と「内面」の動きが関連づけられた虚構の世界です。たとえば、「空が晴れる」という場面では、「心が晴れる」という内面につながっている可能性を考えます。情景や人物の動作などにも心情が現れているのです。答えは本文にしかありません。丁寧な読みが求められます。これから授業で繰り返し練習しましょうね。(丸山)

国語編

3分野を
6観点に集約！

